

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和7年3月28日(2025.3.28)

【公開番号】特開2024-150445(P2024-150445A)

【公開日】令和6年10月23日(2024.10.23)

【年通号数】公開公報(特許)2024-198

【出願番号】特願2024-99523(P2024-99523)

【国際特許分類】

C 07 K 16/28 (2006.01)

10

【F I】

C 07 K 16/28 Z N A

C 07 K 16/28

【手続補正書】

【提出日】令和7年3月19日(2025.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒトクローディン6(CLDN6)タンパク質(配列番号:200)に結合する抗原結合タンパク質であって、

(i) GFTFSNYW(配列番号:23)を含むHCCDR1、

(ii) IRLKSDNYAT(配列番号:24)を含むHCCDR2、

(iii) XDGPPSGX(配列番号:457)を含み、1位のXがNであり、8位のXがS、T、A、C、または、YであるHCCDR3、

(iv) ENIYSY(配列番号:20)を含むLC CDR1、

30

(v) NAK(配列番号:21)を含むLC CDR2、及び、

(vi) QHHYTVPWT(配列番号:22)を含むLC CDR3、
を含む、抗原結合タンパク質。

【請求項2】

8位のXがSである、請求項1に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項3】

8位のXがTである、請求項1に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項4】

8位のXがAである、請求項1に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項5】

8位のXがCである、請求項1に記載の抗原結合タンパク質。

40

【請求項6】

8位のXがYである、請求項1に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項7】

抗原結合タンパク質が抗原結合抗体フラグメントであり、好ましくはscFv、F(ab')₂、Fab、Fab'及びFvからなる群から選択される、請求項1に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項8】

抗原結合タンパク質が抗体である、請求項1に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項9】

50

抗体が、(i)モノクローナル抗体、(ii)ヒト抗体、ヒト化抗体、もしくはキメラ抗体、または(iii)IgGである、請求項8に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項10】

IgGがIgG1、IgG2、IgG3及びIgG4からなる群から選択され、好ましくはIgG1である、請求項9に記載の抗原結合タンパク質。

【請求項11】

請求項1から10のいずれか1項に記載の抗原結合タンパク質と細胞傷害剤または化学療法剤とを含むコンジュゲート。

【請求項12】

リンカー、好ましくは切断可能なリンカーをさらに含む、請求項11に記載のコンジュゲート。10

【請求項13】

細胞傷害薬または化学療法剤がリンカーを介して抗原結合タンパク質にコンジュゲートされている、請求項11に記載のコンジュゲート。

【請求項14】

化学療法剤が抗有糸分裂薬であり、好ましくはアウリストチンであり、最も好ましくはMMAEである、請求項11に記載のコンジュゲート。

【請求項15】

化学療法剤がリンカーを介して抗原結合タンパク質にコンジュゲートしているMMAEである、請求項11に記載のコンジュゲート。20

【請求項16】

(a)請求項1から10のいずれか1項に記載の抗原結合タンパク質または請求項11から15のいずれか1項に記載のコンジュゲート；及び(b)薬学的に許容される担体、希釈剤、及び/または賦形剤を含む、医薬組成物。

【請求項17】

がんの治療に使用するための請求項1から10のいずれか1項に記載の抗原結合タンパク質または請求項11から15のいずれか1項に記載のコンジュゲート。

【請求項18】

(a)請求項1から10のいずれか1項に記載の抗原結合タンパク質を試料と接触させ、(b)CLDN6に結合した抗体またはその抗原結合フラグメントを含む免疫複合体をアッセイすることを含む、試料中のクローディン6(CLDN6)を検出するためのインピトロの方法。30

【請求項19】

対象におけるクローディン6(CLDN6)陽性がんをインビボで診断する方法に使用するための、請求項1から10のいずれか1項に記載の抗原結合タンパク質。